

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp

<https://jhu-wing.main.jp/>



12・22 JAL 本社大包囲行動（連帯の挨拶・決意表明） 争議解決を求める熱い訴え

超党派議員 24 名を代表して、

福田昭夫衆議院議員から激励のご挨拶



13 年前の大晦日に解雇、正に人間としてあるまじき行為。ILO から 4 回も勧告。守る必要はないと 13 年も無視してきた。JAL は世界に誇る大企業のひとつ。世界が人権を大事にする時代に突入している中、世界から評価されない。11/6 に都労委に解決の要請をした。労働問題を解決するためにも、議員、JHU、ここに参加している支援者の皆さんと、力を合わせて頑張っていきましょう。

連帯のご挨拶

高野飛鳥さん 東京清掃労組中央支部 書記長



今日まで様々な権利を勝ち取ってきたのは、職場や地域を越えて働く者が声をあげ、闘いを進めてきた結果だ。職場に要請に来た闘争団の話聞いて、自ら進んで参加を決意した。単組、産別を超えた仲間との共闘をより強固にすると共に、モノ言わぬ労働者のみをえり好みする JAL 経営陣、不当な資本の攻撃を打破するため共に頑張ろう。

柚木康子さん JAL 闘争を支える会 事務局長

納得する解決をしたいという闘争団の熱意が伝わった。解雇の必要がなかったことが安全報告書の数字で明らかになった。今やることは、安全運航のために、労使関係を正常にして、まともに働ける職場にするために一日も早く解決の決断をすること。



国府田喜久男さん 空の安全と JAL 争議の全面解決を支援する茨城の会 (12/16 結成)



様々な団体、地域の政党の支持を集めて支援しようと結成された。この大争議を大きく広げていくことを確認した。まだまだ知らない人がいる。勝利のためには本質を伝え世論を作るしかない。何としても早期解決のために全県に行動を広げて早期解決したい。

谷藤賢治さん JAL 解雇撤回愛知の会

12 年前に結成し宣伝行動を行ってきた。昨日の宣伝でも通行人から声をかけられた。交通産業に働く者同士が、大量解雇事件を許してはならないという思いで 12 年間闘っている。もう少しで JAL が解決を示すだろうと信じて闘っている。共に頑張ろう。



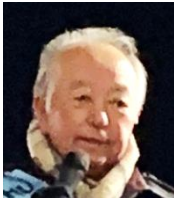
愛媛・大阪・福岡でも頑張っています ～争議団員の訴え～

大池ひとみ JHU 副書記長 愛媛



赤坂社長が機内誌で、「年末年始の行事は古来日本人が大事にしてきた」と言っている。私達は13年間穏やかなお正月を迎えたことがない。大晦日に165名を解雇しておきながら残念なことば。私達の気持ちに寄り添い、争議を解決してほしい。尚、冒頭「愛媛争議団を支える会」重見事務局長からのメッセージを代読しました。

榊原正好 JHU 副委員長 福岡



昨年国民支援共闘が解散した際、支援共闘福岡は解散の危機に瀕しましたが、「何を言ってるんだ、こんな時こそ支援しなくてどうするんだ」と、新たに支援共闘に加わった組織もあり、支援共闘福岡は危機を脱し存続する事が出来、現在も毎月定例の宣伝を、福岡空港、博多駅、小倉駅にて実施しています。

神瀬麻里子 JHU 副委員長 大阪

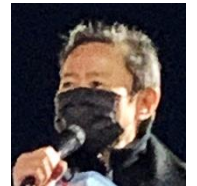


破綻と同時に大阪基地を閉鎖され、多くの仲間が泣く泣く辞めていった。そして、大晦日に年齢と病欠を理由に解雇された。JALの人権意識は昔と全く変わっていない。今も職場から人員不足、安全に自信が持てないと悲痛な声が届いている。全労働者と手を繋ぎ、納得する解決をし、航空の安全と働く者の人権を取り戻したい。

争議団を代表して決意表明

近村一也 乗員争議団長

人員削減目標は大幅に超過達成していた。そして新規採用しても一人も戻さない。何の目的があるのか。整理解雇と称して解雇された。これは大晦日に踏みにじられた人権を取り戻す闘いである。皆さんとの出会いで、同じ思いをしている人が沢山いることを知った。また、業務改善勧告が出される事態になり、会社の都合で働く者を大事にしない労務姿勢が背景にあることが再び明らかになった。安全運航、働く者が報われるためにも、この争議を解決まで闘い抜く決意です。



閉会の挨拶

山口宏弥 JHU 委員長



私が入社してから事故で731人が亡くなっている。様々な不祥事や数々の経営の失敗で破綻した。許されない。この争議の解決は日本航空にとっても、利用者にとっても、現場で働く後輩にとっても、株主にとってもプラスとなる。これが解決できない役員はその資格がない。解決できるまで力いっぱい頑張る。

シュプレヒコール

集会最後に、鈴木圭子客乗争議団長のシュプレヒコールで集会を締め括りました。2021年12月に亡くなった細井砂織さんも争議団の仲間と参加しました。(写真右)

